

「虹を見たよ」

隅田 音 (すみだ おと) 4歳

聖水保育園 (京都教区)

●表紙のことば●

空には大きくて美しい虹が架かっています。それを喜んで眺めているのでしよう。満面の笑顔の三人(一人は動物のようにも見えませんが描かれています。足下にはこれまた、虹にも負けないようなカラフルな花がたくさん咲いています。音さんは、この絵を描きながら、その想像の世界の中で、楽しく、幸せな瞬間を今一度感じていたのでしょう。単色のクレヨンで一気に描き出した迷いのない線、一つ一つ、塗る色を考えながら、色鉛筆で丁寧に彩色しています。

先生は、父の日を視野に、お父さんへのありがとうの気持ちを込めて、お父さんを描こうと促しました。お父さんの顔を中心に描くお友だちが多い中、音さんは「お家の近くでお父さんとお母さんと虹を見たから」と言い、家族みんなで虹を見た様子を伝えたかったです。五歳ころには、画面下部に基底線を、上部には空を描き、伝えたい出来事を、空間を意識して描くようになります。そんな音さんの思いが、しっかりと伝わってきます。



おお はし いさお
大橋 功

和歌山信愛大学